

荒川義子名誉教授追悼号によせて

對 馬 路 人

本号は、当初、本年三月にご退任されました荒川義子教授の記念号として企画されました。先生ゆかりの方々にご寄稿を頂き、編集作業も順調に進んでいました。そして本号をお手元にお届けし、先生にあの柔和な笑顔で受け取っていただくことを楽しみにしていました。しかしその完成を待つことなく、2005年10月4日先生は天に召されました。残念ですが、本号を先生のお手元にお届けすることができなくなりました。そこで本号を荒川名誉教授追悼号とさせていただきます、先生を偲ぶとともに、感謝の思いを込め、先生のご霊前にお捧げいたします。

荒川義子先生は、1961年3月に本学社会学部の前身である関西学院大学文学部社会事業学科をご卒業後、新設間も無い大学院社会学研究科社会福祉学専攻に進学されました。それを修了後、1964年4月より大阪府精神衛生相談所を皮切りに、大阪府公衆衛生研究所精神衛生部（1966年4月）、米国ミシガン州ヘンリー・フォード病院医療社会事業部（1969年8月）、ミシガン州オークランド郡保健センター（1970年10月）と、日米の各機関でソーシャルワーカーを歴任され、社会福祉の現場で豊富な研鑽を積まれました。1973年10月には兵庫医科大学社会福祉部専任講師に就任され、その後、神戸女学院大学文学部総合文化学教科助教授（1977年4月）、同教授（1983年4月）を経て、1985年4月に母校である本学社会学部に教授として迎えられました。この間1983年には、ウェインステイト大学大学院よりM.S.W.の称号も取得されました。そして本学部教授就任の翌年には社会学研究科博士課程前期課程指導教授に任命されました。爾來二十年にわたり本学部、とりわけ社会福祉学の教育・研究に多大なご貢献をいただきました。しかも荒川先生の場合、本学部への貢献は専任教員としての在任期間に留まりません。本学教授就任の十年以上前から非常勤講師として本学部の教育を担っていただいております。その意味でまさに社会学部の歴史とともに歩まれた先生とって過言でないと思います。退任とともに、その本学への貢献により大学から名誉教授の称号が授与されています。

荒川先生のご専門は社会福祉学ですが、ご経歴からも推察されるように、その中でもとりわけ医療福祉の分野を中心とし、しかもより実践的な医療ソーシャルワークに関する研究・教育に精力を注がれました。日米にまたがるソーシャルワーカーとしての豊富な現場体験と幅広い知識を背景に、こうした分野で説得力のある議論を次々と展開されました。なかでも危機（介入）理論にいち早く注目され、ソーシャルワークにとっての意義や応用上の課題について詳しく検討されました。

教育の面では「医療福祉論」など医療福祉にかかわる科目、「精神保健福祉援助技術各論」など福祉援助の技法に関する科目、「社会福祉援助技術演習」など学生の現場実習に備えての訓練科目、「社会福祉事例研究」など実習経験の意味を深める科目を中心にご担当されました。「現場に強い関学の福祉」という評価に違わぬ学生の訓練や養成、しっかりとした実習を核とする「関学方式」とされる福祉教育カリキュラムの創出や運用においてまさに陣頭指揮をとられました。そして、それをおして社会福祉の実践面で、さらに社会福祉の研究面で多くの有為の人材を育てられました。また、大学関係では、カウンセリングルーム室長、学生支援センター副長など、学生福祉の面でもご貢献いただきました。

先生は学外での活躍も顕著であります。研究関係では「日本社会福祉実践理論学会」、「日本キリスト教社会福祉学会」、「日本医療社会福祉学会」、「日本医療ソーシャルワーク研究会」などで、それぞれ理事、編集委員（長）、代表などを勤められ、また「日本医療社会福祉学会」では会長を勤められました。福祉関係の社会活動でも、「日本精神医学ソーシャルワーカー協会」、「兵庫県精神保健福祉士協会」といった福祉専門職団体で理事や会長として尽力されているほか、「兵庫県社会保障審議会」、「大阪府精神医療審査会」、「神戸市保健医療計画審議会」、「兵庫県健康対策協議会」、「神戸市障害者施策推進協議会」など、

医療、福祉関係の各種審議会、協議会で委員を勤められています。福祉の現場を忘れず、理論と実践の往復運動を常に心がけられた先生らしいご活躍ぶりでした。

先生は名誉教授称号授与式において、ご専門の医療福祉について振り返られ、ご自身が病を得られ実際に患者の立場に立って初めて気づかされた点があったこととお話になり、なお研究への強い意欲を示されていました。残念ながらそのために十分な時間は与えられませんでした。先生は最後までその謙虚で真摯な研究への姿勢を貫かれました。

荒川先生、長い間社会学部のためにご尽力いただき、ご苦勞様でした。どうか安らかにやすみください。